



2019年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年1月10日

上場会社名 株式会社ANAP 上場取引所 東
 コード番号 3189 URL <http://www.anap.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)家高 利康
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員 経営企画部長 (氏名)大矢 正幸 (TEL) 03-5772-2717
 四半期報告書提出予定日 2019年1月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年8月期第1四半期の連結業績(2018年9月1日~2018年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年8月期第1四半期	1,489	—	49	—	55	—	47	—
2018年8月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2019年8月期第1四半期 43百万円 (—%) 2018年8月期第1四半期 —百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2019年8月期第1四半期	円 銭 10.63	円 銭 10.38
2018年8月期第1四半期	—	—

(注) 2018年8月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2018年8月期第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年8月期第1四半期	2,806	1,658	58.7
2018年8月期	2,903	1,848	63.3

(参考) 自己資本 2019年8月期第1四半期 1,648百万円 2018年8月期 1,836百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年8月期	—	0.00	—	6.00	6.00
2019年8月期	—	—	—	—	—
2019年8月期(予想)	—	0.00	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年8月期の連結業績予想(2018年9月1日~2019年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,107	7.2	356	2.0	319	△6.2	265	3.8	61.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更に伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名) 一、除外 一社 (社名) 一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2019年8月期1Q	4,760,000株	2018年8月期	4,760,000株
② 期末自己株式数	2019年8月期1Q	469,339株	2018年8月期	219,339株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2019年8月期1Q	4,425,803株	2018年8月期1Q	4,276,644株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（自 2018年9月1日 至 2018年11月30日）におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善などを背景として景気が緩やかな回復基調で推移する一方、米中貿易摩擦に見られる保護主義の台頭や地政学的リスクなどから金融・資本市場への影響が懸念されるなど、景気の先行きは依然として不透明な状況のまま推移しております。

当社が属するカジュアルファッション業界におきましても、他社のEC強化による価格競争が過熱する一方、個人消費は、投資への慎重姿勢や節約志向による伸び悩み等から、価格に敏感なお客様の慎重な購買行動が、依然として継続しております。

このような状況の下、当社は2016年4月から開始いたしました再生プロジェクトの不採算店舗整理、店舗の再生及び粗利率改善等が前連結会計年度まででほぼ完了し、当連結会計年度よりさらなる事業拡大のための成長戦略へと舵をとっております。

具体的には、前連結会計年度から継続している自社サイトの強化のためのシステム開発及び検証の継続、ブランド価値を最大化するためのプロモーション強化、連結子会社ATLABが展開するEC支援事業の拡大等の施策をとっております。投資期間が先行しているため、足元の数値では売上高、利益面ともに具体的な効果が出てくるのは下期以降と見込んでおり、計画に対しては概ね順調な状況で進行しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高1,489百万円、営業利益49百万円、経常利益55百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益47百万円となりました。

なお、前年同四半期につきましては、四半期連結財務諸表を作成しておりませんでしたので、前年同四半期比較は行っておりません。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

(インターネット販売事業)

インターネット販売事業につきましては、前連結会計年度より引き続き、自社ブランドイメージの毀損を回避するため、他社アパレルのEC強化の値引き合戦に積極的に参入しない方針の下、粗利益確保を優先いたしました。また、自社サイトのユーザーインターフェースの改善等は継続中です。

以上により、売上高は859百万円、セグメント利益は106百万円となりました。

(店舗販売事業)

店舗販売事業につきましては、前連結会計年度末より退店3店舗を行った結果、当第1四半期連結会計期間末における店舗数は29店舗になりました。売上高は前期以前に退店した店舗の影響もありましたが、既存店舗は前連結会計年度より引き続き好調を維持しており、利益面に関しましては、退店店舗の経費圧縮効果もあり堅調に推移しております。

以上により、売上高は552百万円、セグメント利益は66百万円となりました。

(卸売販売事業)

卸売販売事業につきましては、大口の新規の取引先に対する販売増加に伴い、売上高は堅調に推移しております。

以上により、売上高は67百万円、セグメント損失は2百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の残高は2,208百万円となり、前連結会計年度末に比べ193百万円減少いたしました。これは主に、商品及び製品が266百万円増加した一方で、現金及び預金が456百万円減少したことによるものです。

(固定資産)

当第1四半期連結会計期間末における固定資産の残高は597百万円となり、前連結会計年度末に比べ95百万円増加いたしました。これは主に、無形固定資産が5百万円、敷金及び保証金が86百万円それぞれ増加したことによるものです。

(繰延資産)

当第1四半期連結会計期間末における繰延資産の残高は0百万円となり、前連結会計年度末と比べ0百万円減少いたしました。

(流動負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債の残高は850百万円となり、前連結会計年度末に比べ99百万円増加いたしました。これは、買掛金が90百万円、短期借入金が100百万円それぞれ増加した一方で、未払法人税等が25百万円、賞与引当金が30百万円、資産除去債務が6百万円、その他が28百万円それぞれ減少したことによるものです。

(固定負債)

当第1四半期連結会計期間末における固定負債の残高は297百万円となり、前連結会計年度末に比べ7百万円減少いたしました。これは主に、退職給付に係る負債が8百万円減少したことによるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は1,658百万円となり、前連結会計年度末に比べ189百万円減少いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益計上に伴い利益剰余金が47百万円増加した一方で、配当金の支払により利益剰余金が27百万円、自己株式の取得により206百万円それぞれ減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2018年10月10日の「2018年8月期 決算短信[日本基準] (連結)」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,368,115	911,120
受取手形及び売掛金	428,691	415,445
商品及び製品	563,614	830,201
仕掛品	1,248	683
原材料及び貯蔵品	3,769	4,209
その他	40,655	51,138
貸倒引当金	△4,663	△4,371
流動資産合計	2,401,431	2,208,426
固定資産		
有形固定資産	108,661	111,792
無形固定資産	59,442	65,138
投資その他の資産		
敷金及び保証金	209,391	295,994
その他	124,014	124,482
投資その他の資産合計	333,406	420,476
固定資産合計	501,510	597,408
繰延資産	250	234
資産合計	2,903,192	2,806,069
負債の部		
流動負債		
買掛金	197,736	288,303
短期借入金	140,000	240,000
未払法人税等	42,263	17,078
賞与引当金	35,000	5,000
返品調整引当金	300	—
資産除去債務	6,990	—
その他	328,161	300,050
流動負債合計	750,452	850,432
固定負債		
退職給付に係る負債	191,756	182,904
資産除去債務	85,639	89,036
その他	27,203	25,441
固定負債合計	304,599	297,382
負債合計	1,055,052	1,147,815

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	393,188	393,188
資本剰余金	716,654	716,654
利益剰余金	795,154	812,647
自己株式	△68,678	△275,013
株主資本合計	1,836,318	1,647,476
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	620	559
その他の包括利益累計額合計	620	559
非支配株主持分	11,200	10,218
純資産合計	1,848,140	1,658,254
負債純資産合計	2,903,192	2,806,069

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自2018年9月1日 至2018年11月30日)
売上高	1,489,528
売上原価	568,530
売上総利益	920,997
販売費及び一般管理費	871,554
営業利益	49,443
営業外収益	
受取利息	4
受取補償金	9,713
その他	374
営業外収益合計	10,091
営業外費用	
支払利息	587
為替差損	1,757
支払手数料	897
その他	1,002
営業外費用合計	4,245
経常利益	55,290
特別損失	
減損損失	1,810
特別損失合計	1,810
税金等調整前四半期純利益	53,480
法人税、住民税及び事業税	11,169
法人税等調整額	△1,443
法人税等合計	9,725
四半期純利益	43,754
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△3,293
親会社株主に帰属する四半期純利益	47,047

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自2018年9月1日 至2018年11月30日)
四半期純利益	43,754
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△61
その他の包括利益合計	△61
四半期包括利益	43,693
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	46,986
非支配株主に係る四半期包括利益	△3,293

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2018年10月10日開催の取締役会決議に基づき、自己株式250,000株の取得を行っております。この結果、当第1四半期連結累計期間において、自己株式が206百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が275百万円となっております。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自 2018年9月1日 至 2018年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	インターネット 販売事業	店舗販売事業	卸売販売事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	859,634	552,868	67,530	1,480,033	9,495	—	1,489,528
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	859,634	552,868	67,530	1,480,033	9,495	—	1,489,528
セグメント利益又は損失(△)	106,925	66,067	△2,990	170,002	△473	△120,085	49,443

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、ライセンス事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用120,085千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門等における一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。